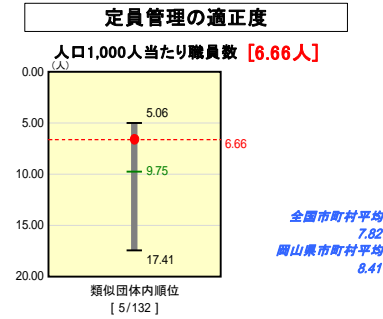
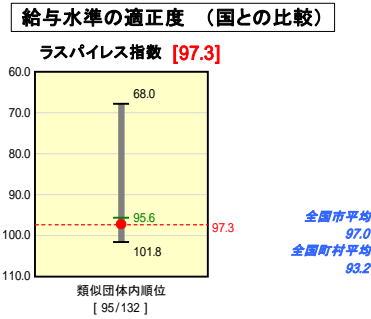
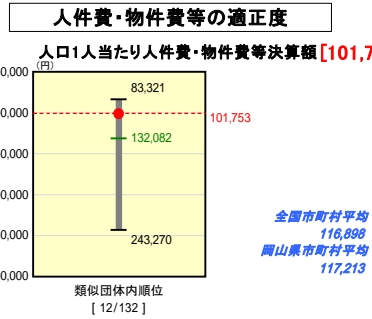
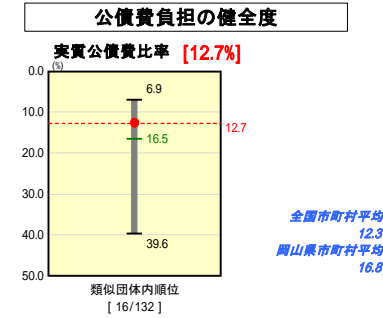
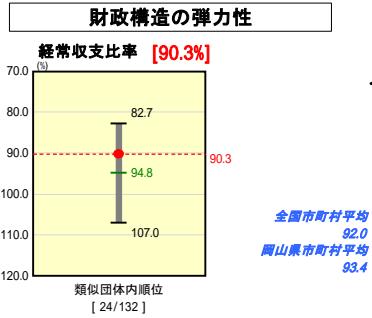
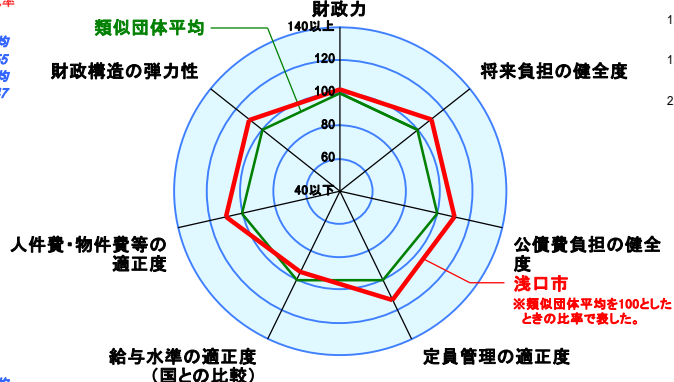
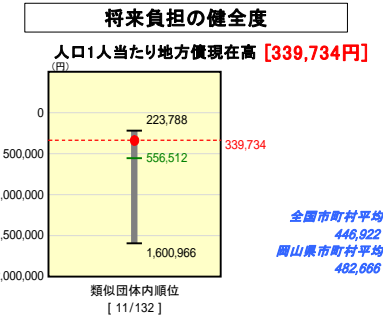
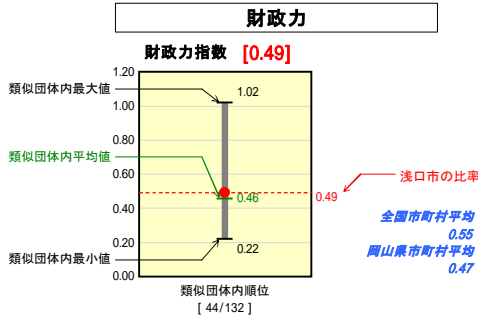


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 浅口市

人口	37,964	人(H20.3.31現在)
面積	66.46	km ²
歳入総額	13,167,412	千円
歳出総額	12,150,282	千円
	907,159	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
 市内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、全国市町村平均を下回っている。今後も徹底した歳入の見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

【経常収支比率】
 類似団体平均を下回っているが、今後事務事業の見直しを更に進めるとともに、事務事業の優先度を点検し、優先度の低い事務事業について計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

【ラスパイレス指数】
 類似団体平均を1.7ポイント、全国市平均を0.3ポイント上回っている。今後も行財政改革への取り組みを通じて給与の適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
 過去からの起債抑制により、類似団体平均を下回っているが、今後とも適量・適切な事業実施により引き続き水準を抑える。

【人口1000人当たりの職員数】
 合併前から類似団体より少ない定数を維持してきたため、類似団体平均を下回っているが、平成17年4月1日から平成22年4月1日までの総職員数について、8人(2.8%)の削減を図ることを目標としている。

【人口1人当たり人員費・物件費等決算額】
 類似団体を下回っている要因としては、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。今後はこれらも含めた経費について、抑制していく必要がある。

【実質公債費比率】
 過去からの起債抑制により、類似団体平均を下回っているが、今後とも適量・適切な事業実施により引き続き水準を抑える。